



市政運営に絶大な

御協力を

市長 齊藤 重五郎

今回市長選挙に当心より感謝致します
り多数市民各位の御

不肖私素より市民



各階層の代表である事を深く信条とし清く明るき市政

支援を蒙り、当選の

栄を得ました事を衷

四代目市長に

齊藤重五郎氏

市長選挙戦は一月十七日

四代目市長を決する焼津

市長選挙は二月一日午前六

時より市内十三ヶ所に投票

所を設け翌二月二日開票を

行い齊藤重五郎氏が市長の

金的を射止めました。

市長選挙戦は一月十七日の市長選挙期日の告示によ
り今迄満月の如くひきぼ
られたいた弓からはなれた
矢の如く世人噂の大石、宮
崎、齊藤、中野の四氏が一
齊に飛び出し、弓が弱かつ
として就任致しました。

四代目市長を決する焼津

選挙市議選はこんな心持ちで

昭和三十年一月 焼津市から追放致しました。
大同合併による焼津市議員選挙は二月二十三日小選挙区制によつて
三十六名が選出されます。
焼津市議会議員は一月十日繰上辞任し、焼津地区十九名、小川地区六名、東益田地区四名、大富地区四名和田地区三名が新たに選出されます。
市議会議員は云ふ迄もなく焼津市の決議機関として皆さんの御意見を市政に反映させる大切な人達です、金物の力に働きかれて投票する人は政治を出発点から敗北させます、又尊い一票を棄権する人は其の人の総ての権利を棄てる人です。
一月の広報やいつに掲載致しました保育園々児募集は多数保護者の申し込みがありましたが猶收容に余裕がありますから入園の希望者は至急市役所民生課又は最寄りの保育園にお申し込み下さい。

- 1、告示前からアノ手口を考えて裏をくぐつて暗い選挙(候補者は)
- 2、買収や懲罰の魔の手に乗せられない。
- 3、自由な明るい気持ちで候補者の人格や実践力を判断する。
- 4、婦人会の役員に折詰めたから。
- 5、青年団の総会に酒を寄せてくれたから。
- 6、婦人会の役員に折詰めをくれたから。
- 7、上役の言ふ事をきかねと損をするから。
- 8、後援会で御馳走になつたから。
- 9、頭が低くてお世辞がよいから。
- 10、町の有力者が樹木に来て来たから。
- 11、候補者や奥さんが頼みに来たから。
- 12、上役の言ふ事をきかねと損をするから。
- 13、入学や就職の世話になつたから。
- 14、学校やお宮に寄附してくられたから。
- 15、金をもつたから。
- 16、旅行してみやげをくれたから。
- 17、堂々と政見を発表し、宣伝をしない。
- 18、自分で出来ないことやデータメの公約をしない。
- 19、明るい選挙(候補者は)
- 20、その他不正な運動をしない。
- 21、告示前から運動しない。
- 22、学校やお宮に寄附してくられたから。
- 23、踊りや映画を見せてくられたから。
- 24、金をもつたから。
- 25、手紙をもらつたから。
- 26、手紙をもらつたから。
- 27、手紙をもらつたから。
- 28、手紙をもらつたから。
- 29、手紙をもらつたから。
- 30、手紙をもらつたから。
- 31、手紙をもらつたから。
- 32、手紙をもらつたから。
- 33、手紙をもらつたから。
- 34、手紙をもらつたから。
- 35、手紙をもらつたから。
- 36、手紙をもらつたから。
- 37、手紙をもらつたから。
- 38、手紙をもらつたから。
- 39、手紙をもらつたから。
- 40、手紙をもらつたから。
- 41、手紙をもらつたから。
- 42、手紙をもらつたから。
- 43、手紙をもらつたから。
- 44、手紙をもらつたから。
- 45、手紙をもらつたから。
- 46、手紙をもらつたから。
- 47、手紙をもらつたから。
- 48、手紙をもらつたから。
- 49、手紙をもらつたから。
- 50、手紙をもらつたから。
- 51、手紙をもらつたから。
- 52、手紙をもらつたから。
- 53、手紙をもらつたから。
- 54、手紙をもらつたから。
- 55、手紙をもらつたから。
- 56、手紙をもらつたから。
- 57、手紙をもらつたから。
- 58、手紙をもらつたから。
- 59、手紙をもらつたから。
- 60、手紙をもらつたから。
- 61、手紙をもらつたから。
- 62、手紙をもらつたから。
- 63、手紙をもらつたから。
- 64、手紙をもらつたから。
- 65、手紙をもらつたから。
- 66、手紙をもらつたから。
- 67、手紙をもらつたから。
- 68、手紙をもらつたから。
- 69、手紙をもらつたから。
- 70、手紙をもらつたから。
- 71、手紙をもらつたから。
- 72、手紙をもらつたから。
- 73、手紙をもらつたから。
- 74、手紙をもらつたから。
- 75、手紙をもらつたから。
- 76、手紙をもらつたから。
- 77、手紙をもらつたから。
- 78、手紙をもらつたから。
- 79、手紙をもらつたから。
- 80、手紙をもらつたから。
- 81、手紙をもらつたから。
- 82、手紙をもらつたから。
- 83、手紙をもらつたから。
- 84、手紙をもらつたから。
- 85、手紙をもらつたから。
- 86、手紙をもらつたから。
- 87、手紙をもらつたから。
- 88、手紙をもらつたから。
- 89、手紙をもらつたから。
- 90、手紙をもらつたから。
- 91、手紙をもらつたから。
- 92、手紙をもらつたから。
- 93、手紙をもらつたから。
- 94、手紙をもらつたから。
- 95、手紙をもらつたから。
- 96、手紙をもらつたから。
- 97、手紙をもらつたから。
- 98、手紙をもらつたから。
- 99、手紙をもらつたから。
- 100、手紙をもらつたから。

保育園々児募集

一月の広報やいつに掲載致しました保育園々児募集は多数保護者の申し込みがありましたが猶收容に余裕がありますから入園の希望者は至急市役所民生課又は最寄りの保育園にお申し込み下さい。

二月二十二日(火)

市議会議員

最高裁判所裁判官國民審査

図書館便り

図書館の歴史

●奈良平安時代(公家文庫)
について

我が国の学術も次第に進歩し
移入図書の数も時代と共に増加した奈良時代後、用紙文具制作の技術も進んで

図書の書き方も漸次かんに
なつて学者も輩出して邦人の著述も起り一般に日記を書く風がさかんになつた。

特に学問を以つて立つのにおいては代々一族の学問研究の資料として家学の図書を蓄えここに個人蔵書家の

おもてはゆる風習がさかんになつた。當時は印刷術が発達せず図書の収集は多く書きによつてなされた。これらの図書は保存に付いて格別の注意が払はれていたが建築上防火的技術の充分でなかつた

上代は火災の都度この災をこうむつたものが多く上代の文庫で現在完全に持さ

れいるものは皆無である
何等かの形で学問研究に多大の裨益を与えたものは

芸亭と紅梅殿である。

●第一回作文コンクール
入賞者氏名

●特選 焼津東小学校六年生 小松淳子

●特選 北新田、焼津の一部 服部弥太郎

●入選 滝口孝、沢入清美

●入選 滝口孝子、長谷川久夫、滝口孝、沢入清美

●入選 豊田中学三年生 松永弘子、片岡里枝、平

田経一 以下佳作十二名

●特選 鶴野隆一 以下佳作三名

●特選 高校の部 塩沢教恵

●入選 鶴野隆一 以下佳作三名

●特選 中学の部 塩沢教恵

●入選 鶴野隆一 以下佳作三名

●特選 高校の部 塩沢教恵

●入選 鶴野隆一 以下佳作三名

●特選 中学の部 塩沢教恵

◎入選 池ヶ谷まさ子、寺尾賢次、高松璃美子、大塚升代、鈴木志津子

◎一般の部 佳作三名

◎入選 本町、寺尾賢次、高松璃美子、大塚升代、鈴木志津子

◎一般の部 佳作三名

長一覽

一区

二区

三区

四区

五区

六区

七区

八区

九区

十区

十一区

十二区

十三区

十四区

十五区

十六区

十七区

十八区

十九区

二十三区 小川

二十四区 石津

二十五区 方ノ上

二十六区 坂本

二十七区 石脇上、下

二十八区 中里、岡当目

二十九区 浜當目

三十区 小浜、野秋、花沢、飯塚宗一

三十一区 吉津、高崎、花沢、飯塚宗一

三十二区 中根、中根、増田清一

三十三区 本中根、中根、増田清一

三十四区 中根新田、中根、増田清一

三十五区 上小田、治長請所下

三十六区 三郎兵衛新田、治長請所下

三十七区 上小田、治長請所下

三十八区 小長谷耕作

三十九区 治長請所の一部

四十区 小長谷耕作

四十一区 小長谷耕作

原崎重太郎

勝岡林

松村安平

駒井稔

又平善太郎

松本竹次郎

曾根博治

増田啓一

中根新田、治長請所上

大住、三石門新田

福宜島、道原

上小田、治長請所下

治長請所の一部

三郎兵衛新田、治長請所下

治長請所の一部

三郎兵衛新田、治長請所下

三郎兵衛新田、治長請所下

三郎兵衛新田、治長請所下

三郎兵衛新田、治長請所下

佐野薰

佐野勝秀

佐野勝秀